



平成31年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年9月7日

上場会社名 インспек株式会社
 コード番号 6656 URL <http://www.inspec21.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 雅史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 富岡 喜栄子

TEL 0187-54-1888

四半期報告書提出予定日 平成30年9月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年4月期第1四半期の連結業績(平成30年5月1日～平成30年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-----|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年4月期第1四半期 | 598 | 69.4 | 14 | | 1 | | 5 | |
| 30年4月期第1四半期 | 353 | 13.3 | 71 | | 79 | | 63 | |

(注) 包括利益 31年4月期第1四半期 5百万円 (%) 30年4月期第1四半期 58百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年4月期第1四半期 | 1.68 | |
| 30年4月期第1四半期 | 21.20 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 31年4月期第1四半期 | 3,066 | 1,000 | 29.4 | 274.01 |
| 30年4月期 | 3,013 | 1,132 | 30.1 | 275.23 |

(参考) 自己資本 31年4月期第1四半期 902百万円 30年4月期 906百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年4月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 31年4月期 | | | | | |
| 31年4月期(予想) | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年4月期の連結業績予想(平成30年5月1日～平成31年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-----------------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,700 | 40.6 | 236 | | 168 | | 120 | | 36.43 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社では年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) パスイメージング株式会社

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 31年4月期1Q | 3,294,100 株 | 30年4月期 | 3,294,100 株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

期末自己株式数

| | | | |
|----------|------|--------|------|
| 31年4月期1Q | 31 株 | 30年4月期 | 31 株 |
|----------|------|--------|------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 31年4月期1Q | 3,294,069 株 | 30年4月期1Q | 3,008,588 株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (重要な後発事象) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成30年5月1日～平成30年7月31日）における世界経済は、欧米におきましては景気は回復基調で推移し、アジア地域におきましても回復や持ち直しの動きが見られました。わが国経済につきましても、企業の設備投資が堅調に推移し景気は緩やかな回復が続きました。一方で、米中の通商問題や欧州での不安定な政治動向等に対する懸念が広がり、世界経済の先行きに不透明感を残しました。

このような経営環境の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は598百万円（前年同期比69.4%増）、営業利益は14百万円（前年同期は営業損失71百万円）、経常利益は1百万円（前年同期は経常損失79百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は5百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失63百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社連結子会社であったパスイメージングを持分法適用会社に変更しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当社グループは、連結子会社であったパスイメージングを持分法適用会社へ変更したため、同社が担っていた「デジタルパソロジー関連機器事業」を報告セグメントから除外しました。

①半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業（当社）

当第1四半期連結累計期間におきましては、当社が現在戦略的に取り組んでおりますロールtoロール型検査装置及び次世代半導体向け超精密基板検査装置の受注や引き合いが増加しており、当第1四半期連結会計期間末における受注残高は1,596百万円となりました。また、平成30年4月に開示しました大型受注の一部案件が当第1四半期連結会計期間中に納入になったことなどから、当第1四半期連結累計期間の売上高は計画通りの水準となりました。

この結果、当事業の売上高は469百万円（前年同期比155.8%増）となり、セグメント利益は26百万円（前年同期はセグメント損失52百万円）となりました。

②精密基板製造装置関連事業（First EIE SA）

当第1四半期連結累計期間におきましては、当事業の主力製品でありますフォトリソ（基板のフィルム原版を印刷する装置）が引続き売上を牽引しております。ダイレクトイメージング装置（基板にパターンを直接描画する装置）につきましては、北米に販路を拡大したことで引き合いはあるものの、納入時期がずれ込んだことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は当初計画を下回りました。

この結果、当事業の売上高は128百万円（前年同期比23.5%減）となり、セグメント損失は14百万円（前年同期はセグメント利益15百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末に比べ53百万円増加し、3,066百万円となりました。これは主に、現金及び預金169百万円の減少、受取手形及び売掛金125百万円の増加、仕掛品318百万円の増加及びパスイメージングの連結除外によるのれん197百万円の減少によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末に比べ185百万円増加し、2,066百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金80百万円の増加、短期借入金600百万円の増加、長期借入金37百万円の減少及びパスイメージングの連結除外による転換社債500百万円の減少によるものであります。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ131百万円減少し、1,000百万円となりました。これは主に、パスイメージングの連結除外による非支配株主持分136百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年4月期の通期の業績予想につきましては、平成30年6月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年4月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年7月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 907,879 | 738,127 |
| 受取手形及び売掛金 | 596,678 | 721,998 |
| 電子記録債権 | 7,959 | 885 |
| 商品及び製品 | 83,187 | 104,932 |
| 仕掛品 | 401,068 | 719,126 |
| 原材料及び貯蔵品 | 111,161 | 163,093 |
| その他 | 88,025 | 66,504 |
| 貸倒引当金 | △1,702 | △2,175 |
| 流動資産合計 | 2,194,258 | 2,512,493 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 161,950 | 170,795 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 70,780 | 63,409 |
| 土地 | 42,990 | 42,990 |
| 建設仮勘定 | 91,726 | 3,839 |
| その他（純額） | 36,912 | 23,694 |
| 有形固定資産合計 | 404,359 | 304,728 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 383,527 | 185,659 |
| その他 | 8,360 | 7,349 |
| 無形固定資産合計 | 391,887 | 193,008 |
| 投資その他の資産 | 23,104 | 56,550 |
| 固定資産合計 | 819,352 | 554,287 |
| 資産合計 | 3,013,611 | 3,066,780 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 287,640 | 368,591 |
| 短期借入金 | 400,000 | 1,000,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 166,224 | 161,424 |
| 未払法人税等 | 2,939 | 183 |
| 製品保証引当金 | 16,368 | 17,333 |
| 賞与引当金 | 2,657 | 14,723 |
| 役員退職慰労引当金 | 43,523 | 43,523 |
| その他 | 92,709 | 130,311 |
| 流動負債合計 | 1,012,062 | 1,736,090 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 307,727 | 269,895 |
| 繰延税金負債 | 27,335 | 28,877 |
| 転換社債 | 500,000 | — |
| 資産除去債務 | 305 | 306 |
| その他 | 34,146 | 31,408 |
| 固定負債合計 | 869,514 | 330,487 |
| 負債合計 | 1,881,577 | 2,066,577 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 (平成30年4月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年7月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 822,971 | 822,971 |
| 資本剰余金 | 423,504 | 423,504 |
| 利益剰余金 | △288,538 | △293,229 |
| 自己株式 | △41 | △41 |
| 株主資本合計 | 957,895 | 953,205 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | △51,271 | △50,598 |
| その他の包括利益累計額合計 | △51,271 | △50,598 |
| 新株予約権 | 64,626 | 74,732 |
| 非支配株主持分 | 160,783 | 22,864 |
| 純資産合計 | 1,132,034 | 1,000,203 |
| 負債純資産合計 | 3,013,611 | 3,066,780 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自平成29年5月1日 至平成29年7月31日） | 当第1四半期連結累計期間 （自平成30年5月1日 至平成30年7月31日） |
|-------------------------------|---|---|
| 売上高 | 353,276 | 598,354 |
| 売上原価 | 186,941 | 356,954 |
| 売上総利益 | 166,334 | 241,399 |
| 販売費及び一般管理費 | 237,710 | 227,025 |
| 営業利益又は営業損失（△） | △71,376 | 14,374 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6 | 0 |
| 貸倒引当金戻入額 | 3,600 | 16 |
| 為替差益 | — | 487 |
| その他 | 226 | 397 |
| 営業外収益合計 | 3,833 | 901 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,021 | 3,221 |
| 手形売却損 | 95 | 4 |
| 為替差損 | 5,312 | — |
| 持分法による投資損失 | — | 10,784 |
| その他 | 2,324 | — |
| 営業外費用合計 | 11,754 | 14,010 |
| 経常利益又は経常損失（△） | △79,297 | 1,265 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 681 | — |
| 賃貸借契約解約損 | 836 | — |
| 事務所移転費用 | 1,377 | — |
| 特別損失合計 | 2,895 | — |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△） | △82,192 | 1,265 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 8,932 | 6,326 |
| 法人税等調整額 | △9,701 | 1,522 |
| 法人税等合計 | △768 | 7,848 |
| 四半期純損失（△） | △81,424 | △6,582 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失（△） | △17,639 | △1,039 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失（△） | △63,784 | △5,542 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 平成29年5月1日 至 平成29年7月31日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 平成30年5月1日 至 平成30年7月31日） |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失（△） | △81,424 | △6,582 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 23,021 | 592 |
| その他の包括利益合計 | 23,021 | 592 |
| 四半期包括利益 | △58,402 | △5,989 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △45,773 | △4,869 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △12,628 | △1,120 |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったパスイメージング株式会社を持分法適用会社に変更しております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成29年5月1日 至 平成29年7月31日）（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 （（注）1） | 四半期連結 損益計算書 計上額 （（注）2） |
|-----------------------|-------------------------------------|------------------|-------------------------|---------|---------------|---------------------------------|
| | 半導体パッケ ージ基板・精 密基板検査装 置関連事業 | 精密基板製造 装置関連事業 | デジタルパソ ロジー関連機 器事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 183,681 | 168,086 | 1,508 | 353,276 | — | 353,276 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 183,681 | 168,086 | 1,508 | 353,276 | — | 353,276 |
| セグメント利益又は損 失（△） | △52,108 | 15,882 | △37,406 | △73,632 | 2,255 | △71,376 |

- （注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額2,255千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成30年5月1日 至 平成30年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 （（注）1） | 四半期連結 損益計算書 計上額 （（注）2） |
|-----------------------|-------------------------------------|------------------|---------|---------------|---------------------------------|
| | 半導体パッケ ージ基板・精 密基板検査装 置関連事業 | 精密基板製造 装置関連事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 469,851 | 128,502 | 598,354 | — | 598,354 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 469,851 | 128,502 | 598,354 | — | 598,354 |
| セグメント利益又は損 失（△） | 26,919 | △14,746 | 12,173 | 2,201 | 14,374 |

- （注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額2,201千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

当社グループは、当社の連結子会社でありましたパスイメージングを持分法適用会社に変更いたしました。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第1四半期連結累計期間においては192,318千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の連結子会社でありましたパスイメージングが持分法適用会社へ異動したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、同社が担っていた「デジタルパソロジー関連機器事業」を報告セグメントから除外しております。

（重要な後発事象）

該当事項ありません。